

平成26年度西部地区まちづくり集会開催記録（概要）

◎日 時 平成26年9月23日（火・祝） 16:00～18:00

◎場 所 西部公民館第1研修室

◎出席団体数 18団体

竹崎自治連合会、長門今浦自治連合会、新地自治連合会、伊崎自治連合会、長崎町自治連合会、大和町漁港町内会、文洋中学校PTA、桜山小学校PTA、下関防犯対策協議会西部地区、グリーンモール商店街振興組合、八幡町八友会、西部第1民生児童委員協議会、西部第2民生児童委員協議会、西部地区保健推進協議会、文洋校区青少年健全育成協議会、コミュニティスクール（文洋中）、桜山小学校区子供会連合会、神田小学校PTA

◎市出席者 市長 中尾友昭

総合政策部政策調整監：星出恒夫、総合政策部部次長：田中光太郎

総合政策部地域支援課課長：阿部恒信、主任：工藤敏也

◎傍聴者 5名

◎次第

- | | |
|--|--------|
| 1 開 会 | 16:00 |
| 2 市長講話（私が考えるあらたなまちづくり） | 16:00～ |
| 3 あらたなまちづくりに関する意見交換 | 16:15～ |
| 4 下関市住民自治によるまちづくり推進計画（素案）
及び全体スケジュールの説明 | 16:30～ |
| 5 推進計画（素案）及びスケジュールに関する意見交換 | 17:10～ |
| 6 閉 会 | 18:00 |

◎まちづくり集会開催の目的

住民自治によるまちづくりを推進するため、その基本となるまちづくり推進計画の策定等に関し、広く地域住民の意見を聴取する場として、それぞれの地域において「まちづくり集会」を開催します。併せて、それぞれの地域における住民等のまちづくり活動に対する機運の醸成を図ることを目的としています。

◎まちづくり集会開催

開式のことば
出席者紹介



◎市長講話

私が考えるあらたなまちづくり
～別紙：市長講話の概要参照～

◎あらたなまちづくりに関する意見交換

参加者 自分の生活が快適なら良い、不便なところは何でも自治会長に言って直してもらえば良い、そんな考えの人が多く、いつもその対応を自治会長や他の2、3名がやっているが、会合のたびに意識改革の話をして、3年経って、最近少し変わってきたと言われる方もいる。だからこういう地域を活気づけて、皆が快適に暮らせる、生活を昔の向こう3軒隣とか親しい人が周りにいて、快適にまちの生活が送れるというのは無理かも分からないが、なるべくそういう雰囲気でもちの問題点を解決してやっていきたいなと思う。

市長さんの言うのももっともで、資料を読む前はまた市役所が色んなことを我々に言ってきて、イメージも湧かないし、まちづくりなんて私たち素人にどうしてできるのだと、市役所がまたこういうことをやったって、屋上屋を重ねるといことになるのではないかと、その辺のところも恐れていたし、市役所では20%位職員を減らしたというけど、余っているような人も沢山いるのではないかという気持ちもあった。

だけど、今、市長のお話を聞いて何とか自分の足元の皆の生活を良くするために皆さんと協力していきたいなという気持ちでいる。

市長 1市4町が合併して市役所の職員も7～800人減っています。まだまだ厳しいところはありますが、職員が多いという状態ではないが、これからも気を付けていく。

今日、初めてこういう会合に出てきたと、こういうまちづくりとかいきなり言われてびっくりしたという方もおられると思う。それは当然である。よその地区でもあるが、今日は第1回目だからどういう内容になるのかは後で詳しく説明するが、市内を中学校区で17地区に分けている。4町についてはそれぞれ1つずつ。中学校でも2つくらいの地区で一緒になりたいという地区がある。それから是非、今言われたような市が元気、元気といっても地区が元気でないとまちに元気は出ない。それから市民の幸せと言っても、地区が住み良いまちにならないといけない。

今回の取組みは市役所には少し手間がかかる。今までは議会で皆さんの代表が出ているが、議会の多数決で可決したら市民が納得していると、それでやってきたが、それだけではうまくいかない。全国でも珍しい割と先進的な取組みである。

先ほどのコミュニティ・スクールと同じように、手間はかかっても丁寧に市民の方の意見を聞いて市政に反映する。そしてお金の使い道を皆さんに決めてもらう、そういうことになる。これは今までの補助金を切ってまた別に持つてくるのではなくて、今まで通りに市が追加負担をするようになる。この仕組みができればもっと強い組織になっていくだろうから、いきなりはできないが継続していきたいと思う。心配されている屋根の上に屋根をかけることにならないように、頑張っていきたいと思う。

参加者 まちづくりは色々なパターンが考えられると思うが、私どもの自治会の中に第3幼稚園、来年4月で休園、再開することは恐らく無い。ちょうど西部地区の真ん中辺にある立派な施設であるが、廃園後、西部地区の住民のために有効に活用できるような施設にできないかと毎日施設を見ながら考えていた。まちづくりは組織も大変ですけど、ある程度ハード的な面も必要だと思う。災害がいつ起こるか分からない。この廃園後の施設を防災備品機材の備蓄倉庫にしてもらうと、園庭も広いので災害時に一時的な避難場所にして公共空地といいますか、公園位の広場にしてもらえれば良いのではないかな。現在、防災備品機材の備蓄倉庫は彦島有料に1つあるようだが、他に市内では見当たらず、給食用のトラックヤードもついている。2階に荷物を上げるためのリフトを付ければ立派な倉庫になるのではないかな。その中で広い遊戯室と教室1つ位を地域に貸与してもらったら、このまちづくりの良い場所になるのではと思っています。

市長 今、言われたような大きなハード整備は市の方に責任がある。ただ地区で空いた施設ができたときの活用方法、ぜひ皆さん方で話し合ってもらって、その通りにできるかどうか分からないが、希望をまとめてもらっていただきたい。市役所は、全部に目が届く訳ではない。それから事務局もいずれ必要になる。そうすると事務局が必要になり、そういう経費も予定しているので、今言われるような施設があればその一角というのが検討できると思う。

それから、よその地区で防災訓練を自治会の経費で実施している。皆が参加するとかなり経費がかかるというときも今回予定している中から出してもらえばいい。それから自治会に入っていないとか、連合会に入っていない自治会中にはある。この会にお金が出ますから、皆さん入ってもらって一緒にやりましょう、というきっかけにもなると思う。それから自治会だよりを出されていると思う。そういうものに経費を使うとか、使い方は決まっている訳ではないので、色々アイデアを出してもらってやってもらいたいと思う。先ほどお話のあった施設は使い勝手がよければ、活用する可能性は大いにあると思う。

参加者 避難場所としてどれ位の人数分確保できるか。

参加者 園庭は幼稚園の運動会ができるくらいの広さ。園舎は2階建てで教室は2階に4つだったと思う。1階事務室と教室が2つと大きな準備室。高台ですのでどっちから上がってもいい、車も入りますし。非常に使い勝手がいいが、ちょっと放置したら藪になってしまう。しかし全部自分で管理はできない。

参加者 校区の合併問題、私、関西校区だが、関西、桜山、神田で校区3つあり、その

中で関西が場所的に一番大丈夫と思っていたが、最近の話では桜山小学校が残ると。ある人によれば、ある人が動いてこういうふうになったと聞いているし、私も関西小学校の地域の者は長門町竹崎の市営住宅がもう40何年経っており期限が来るのでは。あれを立て替えてもらえば新しく若い人が戻ってくる。そうすると子どもが生まれて、なぜ桜山のような遠い小学校に行かないといけないうか、おまけに王江小学校も名陵中学校と一緒に。本村小学校も西山小学校と一緒に。そうすると唐戸から大和町、桜山小学校までは小学校がなくなる。市の中心地に小学校が無くなるということはどういうことかなど。また、竹崎に新しく市営住宅を建て替えば、恐らく若い人は戻ってくると思う。今駐車場の無い市営住宅なので若い人がみな逃げる。恐らく家庭には1台か2台車を持っている。駐車場の無いマンション、市営住宅は入り手がいない。恐らく市営住宅を作れば駐車場も作ると思うので、若い人が戻れば子どもが増える。なのに、関西小学校が無くなるというのはどういう意味かなと思う。長い目で見れば、関西小学校を残すべきではと思う。もし合併するなら桜山小学校は向山小学校と合併し、関西小学校は神田小学校と合併するのが本当と思う。それができなければ桜山小学校も関西小学校も残していただきたい。両方残していただければ地域の人は安心されると思う。

市長 グリーンモールの市営住宅もかなり老朽化しているので、立て替えないといけない方向にはあるが、それはすぐやると決まっていな。学校の統廃合は方針が出るのでそれには間に合わないが、教育委員会が考えているのは、誰か有力な人が言ったからとかそんな時代ではない。ただバランスを考えた中で決まってきた。地区の方には丁寧に説明をする機会がまたあるので、学校のことについてはその時に色々な意見を言っていたきたい。

参加者 お店をしているが町内会に入らないという人がいる。私たちは強制できないが市の方の回覧か何かで極力入ってもらえるように流していただければと思う。町の中で一緒にやろうと思っても何軒かは協力がな。そうすると、あそこがやっていないのにといい雰囲気が出る。そういう雰囲気を無くすためには全町内、全会員の家庭が入るといい風にしていただきたい。特に全国チェーンの商売の方は本社の関係で入らないといふことが多い。市の方から協力に市のために入れと流していただきたい。

市長 自治会は任意の組織なので市が強制はできないが、大事な取組なので、このたびのお話をきっかけとしてまちづくり協議会の活動が広がっていけば、無関心の方も協力していただけるようなと思う。それが1つの狙いであり、お互い努力していきましょう。

参加者 今まで市役所に行って色々お願い事をしているが、民間の事に市は口を出せないとシャットアウトされる。今回、このようなすばらしいことを進めるというのであれば、そういう事が無いようにしていただきたい。今の自治会に入るように、という話も恐らく民間のことだから市はタッチできませんと言って門前払いだと思。私は少しその辺がトラウマになっている。何度か色んな問題あ

って各課に行くが、それは民間のことで市は口を出せません、知りません、というような答えなので、今、市長さんが言われたように市がサポートして門前払いのような形にならないようにしていただきたい。

市長 今、市長に直接質問、要望する「市長への手紙」という制度がある。これは必ず市長のところへ届く。民間の話で市役所に対して合点がいかなければ改めて市長宛に出してもらえば再度調査をして市長名でお答えをするようになる。市役所職員も公営でやっているから民事民間といえば腰が引けるところもあるだろうが、よほどのことがあれば市長宛に言っていただきたい。

参加者 文洋校区の通学路の問題。文洋中学校に上がっていく坂がちよっと危険である。通学時に広がって歩いて車が通れないとか地域の方のクレームがある。どちらが優先なのかという話をきちんとした方がいいのではと思う。その他の道路工事も大事だと思うが、子どもたちの安全を守るために通学路の確保を優先してもらえれば。

市長 コミュニティ・スクールでそんな話は出ないのか。

参加者 ちらほらとそのような話は出て、クレームは上がっていた。

市長 それはずっと上げていただきたい。いきなりできなくても地域の課題としてはずっと残っていくので。コミュニティ・スクールの中からもっと整備ができるように意見をまとめていただきたい。

市長 皆さんの中で、日頃、気が付かないことがある。子どもさんがいないから通学路と言ってもどこの事だろうと。ただこういう機会があれば皆が地域の子どもが通う学校のここが危ないとかしっかきまとめてもらって市に要望する機会があるので、いきなり全部はできないが、重要課題については対策を立てないといけないし、皆さんに聞いてもらうにはちょうどいい機会である。

◎下関市住民自治によるまちづくり推進計画（素案）及び全体スケジュールの説明

～別紙：説明概要及び説明資料参照～

◎推進計画（素案）及びスケジュールに関する意見交換

参加者 正直なところ何かよく分からないという感じであるが、地区の中には色々な団体がある。住民自治といえば自治会である。まとめ役として自治連合会があるが、この計画と自治連合会はどういう位置関係になるのか。

市担当 自治連合会、自治会が一構成員になる。先ほど長野市の例があったかと思うが、総務部会の中に自治連合会があってその委員として自治会が入るとか色々形はあるが、もちろん、その中で自治連合会が中心になるという所もあるかと思うが、あくまでも一構成員という風に理解頂ければと思う。

参加者 話の中で従来の組織を解体するという話があったので、自治会とどういう関係なのか確認したが、自治会は多岐にわたるものを抱えている。予算なんかがあったが、新たな負担となると、私の自治会では街灯が70ヶ所位ある。自治会会費の半分くらいが電気代になる。補助金もあるが、民生委員さんの活動とか、

その他いろんなものを自治会で支えている。それを頭でまとめてもきちんと下まで効果が及ぶのだろうか。絵に描いた餅のような気がする。

市担当 先ほど解体とあったが、地域の中で今のままで良いというのであれば解体する必要はないが、中にはよその地域で効率化したいという話もあったので、将来的にはそういったことも必要かもしれないということ。自治会が色んな事をやっているのは私もよく分かっている。

参加者 まだまだこのイメージとしてはできないと思う。1つずつ会合を積み重ねていけば徐々に姿が見えてくるかなと思う。まちづくり協議会という名前自体が抽象的な名前だから具体的なイメージが湧かない。段々と経験を積んで。1つ1つイベントをやっていく内に、色んなものが出てくると思う。

市担当 今日は推進計画ということで、今、市がこういうことを考えているというのを説明して、今日初めて来られた方もおられるのでいきなり今日すぐにやりましょうということではない。また色んな機会それぞれの団体で持ち帰って、こういう話があるぞと、今後ちょっと考えてみるかみたいな感じで伝われば良いかなと思っている。

市担当 1つの単位自治会、団体では解決が難しい所について、ネットワークを作って行こうという基本的なものである。その辺を念頭に置いてお考え頂ければ。

参加者 ネットワークを作って難しい問題を片付けようって言われると返って難しくなる。だから自分の自治会をしっかりガバナンスしてやっていくというのがまずは第一である。それから出てきた問題はまず自治会長がちゃんと答えないとイケない。その上でなおかつ、隣の町にも連携を図って話し合ってみた方がいかなと、そういうことになるのではないかな。具体的な話ができないと抽象的な話をしても難しい。

市担当 目標としては平成28年度からということであるが、中にはまちづくり協議会に似たネットワーク組織がある地区がある。そういった地区はその組織を改編してやっていこうという地区もあるので、そういう例も見ながら我々もいろいろ情報提供していく。

参加者 こういうメンバーが集まって話し合うのは非常にいいことだと思う。

市担当 先ほどの通学路の問題でもPTAだけでなく自治連合会や自治会長さんも詳しいし、コミュニティ・スクールも自治会長さんが入っていると思う。

参加者 コミュニティ・スクールというのは、校長先生が中心になってやられている。それがあまり町内にこういうことをやろうという提案がないので、そこも問題である。もっと学校の教育者がどんどん地域に物申したら良いと思う。そうしないと我々もだんだん高齢化して頭が回らないようになっているので。そうすると色んな話が出てくると思う。

市担当 組織ができれば地域サポート職員がいて役目として市とのパイプ役も当然ある。課題解決と活性化を図るのもあるが、協議会の中でどうしても困ったことがあればそれをまとめて、市に持っていくことができる。

参加者 良いことだろうと思うが、私たちは各町内、自治会でやっている。その自治会

でやる気のない自治会長の場合、その辺は市としてどう考えているか。どう説明してどう取り組んでいくのか。ただ組織だけができて、実際の活動となると私らが集まって手を打って終わり、そういうことでは何にもならない。いきなりこういうことをドーンとやろうとしても難しいと思う。だから今、市が言われたように担当者が積極的に自治会に出てきて、住民任せではなくいかに市が一生懸命、私たちより3倍も4倍も汗を流してやらないといけない。先ほど市長さんが良いことを言われた、お任せ民主主義。これを行政が打破してくれないと、絵に描いた餅になるのではないかと思う。

市担当 おっしゃる通りだと思う。自治会だけでなく色んな団体にも言えるのが、1年ごとに自治会長が変わるという所も結構あって、人材確保、人材育成が難しいことで、今から頭を悩ませながら一生懸命皆さん方と一緒に取り組んでいかないとはいけないと思う。

参加者 それを乗り越えてやる、くらいでないとダメ。行政は私らでできないことをやっていく。逆に行政は色んな法律で縛られていてできないこともあるが民間人はそれができる。自治会長は1年で交代する地区があると言っても、いつか引継ぐ時期が来る訳で、それが1年なのか3年なのかだけのことである。

参加者 地域によって差がある。同じ歩調でやる必要はなく、できるところはどんどん進んでいい。できないところを置いていくというのではなく、できるところから知恵と説得できる人を派遣して救い上げる。市の一緒にそういう活動をしてもらう。そういうことになるのではないか。

市担当 文洋地区の中でも差があるかと思うので、先ほど市長もお話したが、できるところからやっていって、段々できる地区を広げていく。どうしても無関心な方もいるかもしれないが、それを何とか少しでも参加していただけるような形で、一步一步進めていくのかなと思う。

私もこの地区で育ち、その頃は文洋中学校も13クラスあったが、今はわずかしかない。そういう中で子どもが減って、子どもに帰って来いよと言っても就職もないし、なかなか難しい。でもそれで手をこまねいている訳にはいかないので、何とか一緒にやりましょうということ。

参加者 若い者は地盤の弱いところには帰ってこない。やはり地盤を強くするのは皆でしないとけない。今住んでいる人が何とか前向きに、行政から提案されていることを、自分たちでできるところからやってみるとというのが、大事なのではないかと思う。

市担当 自治会の方から説明に来いと言われればいくらでも行く準備をしているのでお声を掛けいただけたらと思う。

参加者 今からは若い人が担っていかないとけない。学校関係の人は特に頑張っていたきたいと思う。子どものこと、中学校にしても住んでいる環境においての問題についても色々考えていただきたい。それを自治会に上げてもらったり、自治会からは行政に上げるという形で。コミュニティ・スクールと自治会が手を結んで一緒にやっていくというようにできたらと思う。

市担当 P T Aも地域によって、よしやってみようというところもある。当然P T Aの方も仕事があつてあちこち出れないよ、という場合もある。以前、市P T A会長さんと、P T A会長は子どもが卒業したら退くが、例えばOB会とか地域に飛び出してもらえるようになると良いのではとか。ただそういう時に地域の方も若い方をしっかり受け入れられるような体制を作つて欲しいとは思ふ。

市担当 機運もまだまだかとは思いますが、地区割りを外でも確認しているのだが、文洋地区ということによろしいか。今後まちづくり協議会を作るか否かは今からの話ですが、文洋校区ということによろしいか。

参加者 私なんかは小学校区位が、あまり大きくない方がいいと思うが、全体が中学校区ならそれでいい。